

見える魅せるごみ拾い事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部外	部局名	安全環境部	課名	環境政策課		課長名	加藤 浩			
事業主体	福井県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度			
事業実施方法	直営								□ 補助金				事業 開始 年度	H26 年度 経過年数	5 年
補助率									□ その他						
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [] 政策 []				関連する県の計画等		[福井県環境基本計画]								
[事業目的]															
日常生活の中で楽しくできる気軽なごみ拾い活動を展開することにより、環境美化に対する県民意識の向上を図り、ごみのない美しいまちづくりを推進する。															
[事業内容]															
<p>(1) SNS (ソーシャルネットワーキングサービス) 「ピリカ」を活用したごみ拾い活動の促進 [1,656千円] ごみ拾いの様子を写真に収め、ごみ拾いアプリ「ピリカ」に投稿することで、自らのごみ活動をシェアする機会を創出し、自発的なごみ拾い県民運動を拡大する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内でのごみ拾い活動を多く投稿した「ピリカ」利用者を表彰 ・ホームページによる「ピリカ」を活用したごみ拾い活動の紹介 ・スポーツGOMI拾い大会でのごみ拾い活動の様子をピリカに投稿 <p>(2) スポーツGOMI拾い大会の実施 [1,003千円] 国体開催に向け、スポーツGOMI拾い大会を開催し、ごみ拾い運動の強化を図る。 H29年度の予選会を勝ち上がったチームによる決勝大会を開催</p>															
[受益者]						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価							
・ SNS を活用したごみ拾い活動参加者数 延べ約98,000人 (H30.1月末)				・ 6月24日 (日) 国体100日前イベントと併せて、スポーツ GOMI拾い決勝大会を開催				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 813				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

見える魅せるごみ拾い事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部外	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	加藤 浩		
事業主体	福井県					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度
事業実施方法	直営												
補助率													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	2,659			(繰入) 2,659		福井県環境保全基金							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移		1,767	3,262	3,456	3,472	2,659	<ul style="list-style-type: none"> ・ピリカのHP契約について、長期継続契約から単年度契約に変更 ・国体100日前イベントに併せスポーツGOMI拾い決勝大会を開催 						
2月現計予算額の推移		1,767	3,262	3,456	2,940								
決算額の推移		1,632	3,073	2,997									
前年度までの 主な増減理由	平成27年度以降、スポーツGOMI拾い大会による増 1,600千円												
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	SNSを活用したごみ拾い活動参加者数	(目標) 5,000	(20,000)	(25,000)	(25,000)	(25,000)	30年度末までに延べ10万人以上の参加を目指す。						
		実績 12,331人	25,405人	29,946人									
活動指標	ごみ拾いイベント等でのPR回数	(目標) (10)	(10)	(10)	(20)	(20)	国体開催に向けピリカのPRを強化						
		実績 13	11	11									
他県の状況	SNS (ソーシャルネットワーキングサービス) 「ピリカ」を活用したごみ拾い活動の促進 ・横浜市 (H28.11~) HP「ありがとう!ヨコハマクリーンアップ」 ・岡山県 (H29.9~) HP「晴れの国クリーンアップおかやま」					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					

若手環境リーダー育成事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	加藤 浩			
事業主体	福井県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業開始年度	H30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度
事業実施方法	直営													
補助率														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [] 政策 []				関連する県の計画等		[福井県環境基本計画]							
[事業目的]														
環境アドバイザー等の環境教育の指導者が高齢化しているため、大学生を対象に小中学生向け環境教育プログラムを企画・実施する機会を創出することにより、次世代の環境教育を担う若手リーダーの育成を図る。														
[事業内容]														
○大学生が、小中学生を参加対象とした環境学習プログラムを企画・運営する際、それに対し県が支援														
【対 象】 県内の大学生が所属するゼミ、サークル等団体 【支援内容】 1団体あたり200千円(5件) 【選定方法】 応募団体によるプレゼンテーションを行い、審査委員会で選定(企画内容の実現可能性や効果などを審査)														
[受益者] 県内の短大生、大学生、大学院生、小学生、中学生						[想定される受益者数] 100人								
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 地域環境コーディネート力向上事業 (実績) 平成28年度 45名参加 平成27年度 77名参加 平成26年度 89名参加					市町との連携状況							
		[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

若手環境リーダー育成事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	加藤 浩		
事業主体	福井県					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度
事業実施方法	直営												
補助率													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,195			(繰入) 1,195		福井県環境保全基金							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移						1,195							
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	環境学習会参加者 (大学生等)数	(目標)				(50)	10人/回×5団体						
		実績											
活動指標	環境学習会開催数	(目標)				(5)	年1回×5団体						
		実績											
他県の状況	・2013年から、慶応大大学院経営管理研究科において、学生らが8月の2日間にわたって小学生向けのサマースクールを運営。2017年は、対象を未就学児から中学生まで広げ、昨年より3倍以上となる約700人が参加。					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					

「ふくいのおいしい水」発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	環境政策課		課長名	加藤 浩			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H17 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度			
事業実施方法	直営														
補助率															
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [] 政策 []				関連する県の計画等		[福井県環境基本計画]								
[事業目的]															
「ふくいのおいしい水」を核とした地域づくりを推進することにより、県内外に「ふくいのおいしい水」を発信するとともに、県内各地にある認定地を保全する活動を活性化する。															
[事業内容]															
<p>(1) 魅力ある「ふくいのおいしい水」地域づくり研修（年4回） 各認定地域が抱える課題を抽出し、各地域の実情に応じた活動をアドバイスする講師を派遣</p> <p>(2) 広報活動 福井国体・障スポの会場において、ブースを設置し、試飲会の実施 ガイドブック（平成28年度版）を福井国体・障スポの会場等で配布 ガイドブック（認定更新版）を新たに作成し、イベント等で配布</p> <p>(3) 認定期限満了による更新および新規認定地募集 認定検討委員会の開催（年1回）</p> <p>(4) 認定地の水質監視 大腸菌および一般細菌数の検査（年2回）</p>															
[受益者] おいしい水認定地の地域住民						[想定される受益者数] 35地域									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績			実績を踏まえた30年度の変更点					事業評価							
湧水地1地点を新規認定。 湧水地4地域にコーディネーターを派遣。 人とふくいのおいしい水との関わりを収めた映像をイベント等で放映。 新聞やラジオ等で取り上げられた。 活動目標および成果指標は達成した。			福井国体・障スポに参加する県外競技者等を対象としたPR活動の実施。 期限満了（平成30年9月）後に認定地の更新および新規認定地の募集を行い、最新情報にアップデートしたガイドブックを作成し、イベント等で頒布。					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

「ふくいのおいしい水」発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	加藤 浩		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H17 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度
事業実施方法	直営												
補助率													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	3,724					3,724							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移		2,758	2,482	1,998	1,698	3,724	福井国体・障スポ会場の行政ブースにおいて試飲会の実施 福井国体・障スポに合わせたPR活動のためのガイドブック増刷						
2月現計予算額の推移		2,758	2,482	1,998	1,698								
決算額の推移		2,554	2,305	1,605									
前年度までの 主な増減理由	28年度はパンフレットの新規作成がなかった(27年度作成パンフレットの増刷)ことによる減 500千円 29年度はパンフレットの増刷がなかったことによる減 300千円												
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	おいしい水の新聞、雑誌、観光パンフ等への掲載 (目標) (20) 実績 20	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	新聞や雑誌、観光パンフレット等への掲載件数						
活動指標	おいしい水研修参加地区数 (目標) (7) 実績 7	(7)	(3)	(3)	(3)	(1)	研修実施予定地区数						
他県の状況	自由に飲用として供されている湧水地を支援している事業はない。					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					

「ふくいふるさとの音風景」を活用した環境意識向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	環境政策課		課長名	加藤 浩			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度			
事業実施方法	直営														
補助率															
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [] 政策 []				関連する県の計画等		[福井県環境基本計画]								
[事業目的]															
川のせせらぎや祭りにぎわい、方言など地域の中にある身近な音を通じて県民の環境への意識の向上を図るとともに、投稿された音風景を活用し、本県の豊かな自然や優れた文化等の環境のすばらしさを県内外にアピールする。															
[事業内容]															
<p>(1) ふくいふるさとの音風景50選イメージフォトコンテストの実施 50選をその場で体感してもらうため、選定地を対象とした写真コンテストを実施</p> <p>(2) PRブースの設置 各市町のイベントに50選を周知するPRブースを設置</p> <p>(3) 50選の音源収録・写真撮影 50選に選ばれた音風景を随時収録し、県のHPにおいて公開</p> <p>(4) ホームページ「ふくいふるさとの音風景」の運営</p>															
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 約78万人									
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況								
[事業の評価]															
前年度の実績			実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価								
・ 投稿数280件 (H30.1月末現在) ・ 音風景50選を選定し、県ホームページ等で発信 ・ Facebookを開設し、随時情報発信			・ 音風景50選を周知するため、写真コンテスト等を実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 506					
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

「ふくいふるさとの音風景」を活用した環境意識向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	加藤 浩		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度
事業実施方法	直営						□ 法定受託事務						
補助率													
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	658			(繰入) 658				福井県環境保全基金					
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移		943	3,490	3,445	1,164	674	音風景50選を選定したため、50選の周知を実施						
2月現計予算額の推移		943	3,407	3,445	1,164								
決算額の推移		770	3,280	3,390									
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・ 27年度は音風景作文コンテストを実施したため増 2,500千円 ・ 28年度は音風景作文コンテストが終了したため減 2,200千円 											
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	音風景投稿数 (目標)	(50)	(80)	(90)	(90)	(90)	平成30年度末までに400件の投稿を目指す。						
	実績	53	78	90									
活動指標	ワークショップ開催回数 (目標)	(4)	(4)	(4)			福井、坂井、奥越、丹南、嶺南の4地区で実施						
	実績	4	4	4									
他県の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境省 平成8年度に「日本の音風景100選」を選定 ・ 富山県 平成9年度に「とやまの音風景」を50件選定 ・ 大阪府 平成12年度に「大阪の音風景」を63件選定し、大阪サウンドマップを作成。平成27年度から選定された音風景を職員が録音しYouTubeで順次公開 					関連事業の有無・ 役割分担		<ul style="list-style-type: none"> ■ 無 □ 有 事業名 (役割分担) 					

せせらぎ定点観測事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	加藤 浩				
事業主体	福井県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度			
事業実施方法	直営														
補助率															
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [] 政策 []				関連する県の計画等		[福井県環境基本計画]								
[事業目的]															
県内の小学生が地域の河川や用水路をフィールドに水質や水生生物、景観などを調査することにより、地域の水環境に対する関心を高め、将来にわたって、自発的に水環境の保全活動を促すことを目的とする。															
[事業内容]															
<p>県内 8 河川において水質や水生生物、景観等を調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査方法 水辺のすこやかさ指標（みずしるべ）を活用した定点観測（水質、生き物等を調査） ・ 実施時期 7月から8月（夏休み中） ・ 対 象 県内小学生 ・ 協力団体 河川の保全活動を行っているNPO・団体等 ・ 結果報告 県ホームページ等で公表 ・ 支援内容 5年間調査を継続することを要件に、調査用教材（みずしるべ）や調査消耗品（COD簡易検査キット、透視時計等）を団体等に対して支援 															
[受益者] 県内の小学生						[想定される受益者数] 120人									
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価							
県内 8 河川で定点観測を実施（143名参加） 間戸川(7/21)、清滝川(7/21)、田倉川(7/25)、竹田川(7/27)、 はす川(7/29)、南川(7/30)、日野川(8/2)、足羽川(8/17)								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

せせらぎ定点観測事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	加藤 浩			
事業主体	福井県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率						□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	907			(繰入) 907		福井県環境保全基金								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点							
当初予算額の推移		1,294	1,024	1,068	955	907	印刷製本費の減							
2月現計予算額の推移		1,294	1,024	1,068	955									
決算額の推移		462	602	432										
前年度までの 主な増減理由	26～29年度は消耗品の購入を減らしたことによる減													
[成果指標等の推移]														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	せせらぎ定点観測参加者数 (目標)		(120)	(120)	(120)	(120)	1河川あたり参加者数15人×8河川							
	実績		119	119										
活動指標	せせらぎ定点観測開催数 (目標)		(8)	(8)	(8)	(8)	間戸川、足羽川、竹田川、九頭竜川、日野川、田倉川、はす川、南川で調査実施 ※27年度は雨天増水のため、間戸川での調査中止							
	実績		7	8										
他県の状況					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							

地球温暖化ストップ県民運動「LOVE・アース・ふくい」強化事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	加藤 浩							
事業主体	福井県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H12 年度 経過年数 19 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度						
事業実施方法	補助																	
補助率	定額																	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な社会]		政策 [豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に]		関連する県の計画等		[福井県環境基本計画]											
[事業目的]																		
日常生活 (Life)、事業活動 (Office)、自動車利用 (Vehicle)、環境教育 (Education) の分野において、地球温暖化防止の活動の輪を広げる県民運動として「LOVE・アース・ふくい」を推進する。																		
[事業内容]																		
(1) 統一行動日を設定し、地球温暖化防止活動を推進 家庭の日 (毎月第3日曜日) を省エネ行動を推進する統一行動日に設定し、県下一斉にエコな取組みを実施 (2) ウォームシェア事業の実施 冬期間、暖かく過ごせる場所等を登録・周知し、過度に電気等に頼らない取組みを実施 (3) 省エネ家電買替キャンペーンの実施 省エネ性能の高い家電への買替えを促すため、県内協力店舗において、省エネ性能が4つ星以上の省エネ家電の買替えキャンペーンを実施																		
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 約78万人												
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況	市町と連携し、啓発活動を実施											
[事業の評価]																		
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価										
県民に温室効果ガスの削減につながる知識や知恵を普及啓発するための情報発信と県民の自主的な行動を促すため、県内各地で開催されたイベントや受信者の自宅、会社に出向し、「うちエコ診断」を実施 診断実績 100件 (29年度)				「うちエコ診断」の終了				<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額							
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了								
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他								

地球温暖化ストップ県民運動「LOVE・アース・ふくい」強化事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	加藤 浩			
事業主体	福井県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H12 年度 経過年数 19 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			■ 補助金					
補助率	定額					□ その他			□ その他					
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	15,434				(繰入) 15,434			福井県環境保全基金						
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移			3,968	1,828	5,587	1,791	15,434	これまでは省エネに関心の高い者に対象を絞っていたため、県民運動としての広がりが無かった。30年度からはテーマを決めて県下一斉で省エネ行動の実践を促す事業に変更						
2月現計予算額の推移			3,968	1,828	5,587	1,791								
決算額の推移			3,968	1,821	1,821									
前年度までの 主な増減理由		26年度および28年度は環境フェアを開催したことによる増												
[成果指標等の推移]														
区 分			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	温室効果ガス排出量 (千トン)	(目標) 実績	未集計	未集計	未集計	未集計		統計が3年経過後でないと確定しない						
活動指標	環境関連イベント等におけるキャンペーン回数	(目標) 実績	(10) 9	(20) 19	(3) 6	(3)	(9)	省エネをテーマとしたキャンペーン開催件数 【H26~H27】断捨離コンサルティングのブース出展等 【H28~H29】うちエコ診断のブース出展等 【H30~】統一行動の実施回数						
他県の状況							関連事業の有無・役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					

中小企業スマート省エネ促進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	加藤 浩			
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度		
事業実施方法	直営													
補助率														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [] 政策 []				関連する県の計画等		[福井県環境基本計画]							
[事業目的]														
中小企業のほとんどが省エネ法および温対法の規制対象外であるため、県内中小企業の省エネ対策を強化し、コストダウンと併せた温暖化対策を推進する。														
[事業内容]														
<p>(1) ガイドラインの作成 業種ごとに運用改善やICTの活用など、賢い省エネ対策を中心としたガイドラインを作成し、県内中小企業の省エネ対策の強化を図る。</p> <p>① モデル事業者を選定し、委託事業者による省エネ診断を実施 ② 省エネ診断に基づく省エネ対策の実践 ③ 省エネ診断対象者以外にも、アンケート調査およびヒアリング調査を実施 ④ ②および③で得られた具体的な知見を基にガイドラインを作成</p> <p>(2) ガイドラインの活用 商工会議所や商工会等を通じて中小企業にガイドラインを周知・配布し、水平展開を図る。</p>														
[受益者] 県内の中小事業者						[想定される受益者数] 14業種								
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 業種別省エネ研究会の設立・運営事業 (実績) 業種別の省エネ研究会の設立、運営を支援 【26～28年度】 福井県クリーニング生活衛生同業組合、福井県菓子工業組合、福井県老人保健施設協議会、福井県公衆浴場業生活衛生同業組合、福井県織物工業組合)					市町との連携状況								
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

中小企業スマート省エネ促進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	加藤 浩		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度
事業実施方法	直営												
補助率													
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	9,536						9,536						
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移						9,536							
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	ガイドラインのPR回数 (目標) 実績					(一)	ガイドラインのPR回数						
活動指標	ガイドライン策定業種 (目標) 実績					(一)	※ガイドラインの策定については31年度以降						
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					

「次世代（省エネ）自動車導入」の推進

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部外	部局名	安全環境部	課名	環境政策課		課長名	加藤 浩				
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区 分	■ 実行予算		事業 開 始 年 度	H21 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度		
事業実施方法	直営								□ 補助金						□ その他	
補助率									□ その他						□ その他	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [] 政策 []				関連する県の計画等		[福井県環境基本計画]									
[事業目的]																
世帯当たりの自家用乗用車保有台数が日本一であり、移動手段における自動車への依存度が高い本県の現状を踏まえ、運輸部門からのCO2削減が期待できる次世代自動車（電気自動車・プラグインハイブリッド車等）の普及を促進する。																
[事業内容]																
<p>(1) 電気自動車の率先導入（4,057千円） 県が率先して次世代自動車を導入し、県内どこでも県民が目にするように各地域の出先機関へ配置する。 継続7台（プリウス1台、リーフ1台、アイミーブ5台）</p> <p>(2) 急速充電設備の保守・管理、修繕（1,961千円） 計4基（フェアモール福井、越前おおのまちなか交流センター、日光モーター、ホームセンターみつわ武生店） EV・PHVの普及に伴う、利用頻度の増加および経年劣化による修繕</p> <p>(3) マスタープランの推進（36千円）</p>																
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 約78万人										
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況										
[事業の評価]																
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価								
29年度12月末 EV・PHV累計普及台数 1,808台								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

「次世代（省エネ）自動車導入」の推進

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部外	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	加藤 浩		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H21 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度
事業実施方法	直営												
補助率													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	6,054					6,054							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点							
当初予算額の推移	6,761	4,479	4,158	4,254	6,054	i-MiEV(5台)のリースが9年になるため、新車リースに変更する。 県管理の急速充電充電器の故障実績と保守メーカーの提言に従い、修繕費を増額する。							
2月現計予算額の推移	6,761	4,370	4,158	4,254									
決算額の推移	6,381	4,268	4,158										
前年度までの 主な増減理由	公用車再リース料金の契約変更に伴う変更 I-MiEV : H26度に長期リース終了、以降は1年毎の再リース契約を締結 日産リーフ : H29年度に長期リース終了、以降は1年毎の再リース契約を締結 プリウスPHV : H27年度に長期リース終了、新車リース契約を締結 (~H34)												
[成果指標等の推移]													
区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	次世代自動車普及台数 (目標)	(1,200)	(1,500)	(1,800)	(2,100)	環境基本計画で数値目標設定 (毎年約300台普及目標)							
	実績	980	1,215	1,507									
活動指標	公用車の次世代自動車導入台数 (目標)	(10)	(10)	(11)	(11)	(10)							
	実績	10	10	11									
他県の状況						関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

燃料電池自動車普及啓発事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	環境政策課		課長名	加藤 浩			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度			
事業実施方法	直営														
補助率															
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [] 政策 []				関連する県の計画等		[福井県環境基本計画]								
[事業目的]															
地球温暖化防止のさらなる意識向上を図るため、燃料電池自動車や燃料電池バスの乗車体験を開催し、燃料電池自動車への理解を深める。															
[事業内容]															
(1) 燃料電池自動車普及イベント ①国体開会式開催日にFCバスの乗車体験 日程：平成30年9月29日(土) 国体開会式開催日 概要：福井駅⇄運動公園シャトルバスとして運行 ②試乗体験イベント 日程：平成30年7月28日(土) 場所：ハピテラス 概要：燃料電池自動車(MIRAI, クラリティ)の試乗体験イベント等 (2) 水素ステーション整備可能性調査検討会 日程：年2回(8月、2月想定) 概要：水素ステーション整備の可能性について情報交換・協議															
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 約78万人									
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 水素ステーション整備調査事業 (実績) 県内におけるFCV普及台数、将来予測およびステーション整備可能性調査 (収支予測、課題抽出等)、検討会の開催					市町との連携状況		県内市が検討会メンバーとして参画(福井市・敦賀市)							
前年度の実績			実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価								
							<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
							<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

燃料電池自動車普及啓発事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	加藤 浩					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率																
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	6,598	6,598				エネルギー構造高度化・転換理解促進事業										
[予算額の推移等]													(単位：千円)			
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点									
当初予算額の推移						6,598										
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	イベント参加者数 (目標) 実績					(600)	国体開会式開催日のFCバス乗車体験数(300人)、試乗体験イベントの来場者数(300人)									
活動指標	イベント開催回数 (目標) 実績					(2)	国体開会式開催日のFCバス乗車体験(9/29)、試乗体験イベント(7/28)									
他県の状況					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)									

再エネ活用地域振興プロジェクト事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	加藤 浩		
事業主体	県、地域協議会					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度
事業実施方法	直営、補助金												
補助率	10/10, 1/2, 1/4												
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [] 政策 []					関連する県の計画等		[福井県環境基本計画]					
[事業目的]													
再生可能エネルギーの導入に意欲のある県内企業が、地域や市町とともにFITによる売電収入の一部を活用した地域還元型の取組みを企画・実施することによる、再生可能エネルギーの普及と地域のまちおこしを促進する。													
[事業内容]													
(1) 地域協議会の事業化検討に対する支援 ・ 地域での事業化に向けた協議会設立・開催、可能性調査業務（4地域程度） 補助率：地域単独 10/10補助 上限額 300千円 地域と企業合同 1/2補助 上限額 1,000千円 ・ 協議会に専門家のアドバイザーを派遣 30千円/回 360千円（各地域3回想定） (2) 再生可能エネルギー設備導入に対する支援 補助率：県 1/4（市町 1/4） 補助上限額 20,000千円 (3) ふくいまち・エネおこしネット協議会の開催													
[受益者] 県内企業 再エネ導入地域						[想定される受益者数] -							
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 地域主導型再生可能エネルギー等事業化促進事業 （実績） 再エネ導入市町 13市町（H29末見込）					市町との連携状況						
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価					
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

再エネ活用地域振興プロジェクト事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	加藤 浩					
事業主体	県、地域協議会				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度		
事業実施方法	直営、補助金					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	10/10, 1/2, 1/4															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	3,534				3,534											
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点									
当初予算額の推移						3,534										
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	再エネ導入数(累計) (目標) 実績					(-)	再生可能エネルギー導入地域数									
活動指標	再エネ導入地域協議会数 (目標) 実績					(4)	再生可能エネルギー導入に向けた事業化検討									
他県の状況	島根県 再生可能エネルギーによる地域活性化支援事業(H27~) 補助対象：ハード整備に要する経費(借入利子(1.0%)相当) 補助上限：5,000千円 補助要件：事業収益の一部を地域に還元					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)								

福井県の湖沼における有機物の新たな指標による評価と浄化に関する研究

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課		課長名	加藤 浩		
事業主体	県（衛生環境研究センター）				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32 年度
事業実施方法	直営													
補助率														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [] 政策 []				関連する県の計画等		[福井県環境基本計画]							
[事業目的]														
閉鎖性水域である三方五湖や北潟湖において、全有機炭素量（TOC）を初めとする有機物指標の測定を行い、難分解性有機物も含む有機物の総量を把握するとともに、流域ごとの有機物特性の解明、有機物浄化のための分解試験などにより、効果的な水質保全対策を検討する。														
[事業内容]														
(1) 各種負荷源の有機物の特性解明 ・負荷源ごとの各種試験、分析（BOD、COD、TOC、UV等） (2) 湖の有機物の特性解明（流域特性、季節変動） ・三方湖、北潟湖における各種試験、分析、有機物の特性解析（UV260/DOC等） (3) 有機物の浄化試験 ・下水処理水、湖水などを用いた処理実験、分析、解析														
[受益者] 漁業関係者等、行政						[想定される受益者数] 約78万人								
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況								
[事業の評価]														
前年度の実績			実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価							
							<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
							<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

福井県の湖沼における有機物の新たな指標による評価と浄化に関する研究

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	加藤 浩					
事業主体	県（衛生環境研究センター）				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率																
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	32,120	32,120				特別電源所在県科学技術振興事業費補助金										
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点									
当初予算額の推移						32,120										
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	成果の外部発信件数 (目標) 実績						学会等での発表および論文投稿件数									
活動指標	有機汚濁状況の把握 (検体) 実績					(80)	下水4地点×年2回+河川3地点×年2回+湖沼11地点(流入河川2地点含む)×年6回									
他県の状況	国立環境研究所(霞ヶ浦)、滋賀県(琵琶湖)、石川県(河北潟)、福岡県(河川、湖沼)において、難分解性有機物やTOC評価について検討した研究事例がある。					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								

福井県における越境大気汚染の解明に関する研究事業—PM2.5の環境中挙動と発生源寄与の解明—

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課		課長名	加藤 浩		
事業主体		県（衛生環境研究センター）			事務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度
事業実施方法	直営													
補助率														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [] 政策 []				関連する県の計画等		[福井県環境基本計画]							
[事業目的]														
微小粒子状物質(PM2.5)成分および前駆物質(VOC)等の調査により、PM2.5の環境中挙動および発生源を解明し、地域(国内)由来および越境汚染の寄与を推定することにより、高濃度要因を解明し、地域に応じたPM2.5対策の基礎とする。														
[事業内容]														
(1) 挙動解明 ①PM2.5成分調査（地域特性、季節変動、日内変動調査） ②VOC調査 ③雨水成分調査 (2) 越境汚染寄与の推定 ①モデル解析（PMF解析、WRF-CMAQ解析）														
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 約78万人								
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況								
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価						
・学会等で4回発表したことから、成果指標は達成した。 ・67日間調査したことから、活動指標は達成した。 (季節変動56日(14日×4季)+日内変動11日(7+4日))								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 3,200			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

福井県における越境大気汚染の解明に関する研究事業－PM2.5の環境中挙動と発生源寄与の解明－

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	加藤 浩					
事業主体	県（衛生環境研究センター）				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率																
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	668	668					特別電源所在県科学技術振興事業費補助金									
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点									
当初予算額の推移		18,310	15,697	3,842	3,868	668	PM2.5成分調査は29年度夏季で終了									
2月現計予算額の推移		15,216	15,582	3,825	3,819											
決算額の推移		15,215	15,579	3,824												
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 26年度はPM2.5サンプラー、試料分解装置の購入 ・ 27年度は降雨採取装置、VOCサンプラー、マスフローメーターを購入 ・ 29年度はワークステーションを購入 															
[成果指標等の推移]																
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	成果の外部発信件数	(目標) 1	(2) 2	(2) 4	(2)	(2)	学会等での発表および論文投稿件数									
		実績														
活動指標	調査日数	(目標) 49	(63) 66	(63) 67	(63)	(28)	季節変動調査（各季14日間）＋日内変動調査（7日間/回）（降雨調査、前駆物質調査を含む）									
		実績														
他県の状況	他県においてもPM2.5に関する調査研究は実施されているが、VOCと雨水成分の同一地点同時調査を実施している例はない。				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）									

化学物質対策調査研究事業-福井県におけるリン酸エステル系難燃剤の実態把握と処理技術に関する研究-

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	加藤 浩	
事業主体	県（衛生環境研究センター）				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		H29 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金			
補助率									□ その他			
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [] 政策 []				関連する県の計画等		[福井県環境基本計画]					
[事業目的]												
臭素系難燃剤（HBCD）の代替物質として使用量が増加してきているリン酸エステル系難燃剤による環境影響や健康被害のリスク低減を図るため、リン酸エステル多成分同時分析法を確立し、環境中での実態把握を行うとともに排水処理技術の検討を行う。												
[事業内容]												
(1) 多成分同時分析法の確立 (2) 県内河川におけるリン酸エステル系難燃剤の実態把握 ① 県内主要河川の実態調査 ② 高濃度河川の詳細調査 (3) 排水処理技術の検討												
[受益者] 県民（環境濃度の低減化）、染色整理業（排水処理技術）						[想定される受益者数] 染色整理業：約50社						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し		見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了		△ 2,078		
								<input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他				

化学物質対策調査研究事業-福井県におけるリン酸エステル系難燃剤の実態把握と処理技術に関する研究-

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	環境政策課	課長名	加藤 浩	
事業主体	県（衛生環境研究センター）				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H29 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	8,321	8,321				特別電源所在県科学技術振興事業補助金						
(単位：千円)												
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点					
当初予算額の推移					10,399	8,321	29年度に化学物質対策調査研究施設の空調設備を更新したことによる光熱水費の減 2,000千円					
2月現計予算額の推移					10,395							
決算額の推移												
前年度までの主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	(目標) 実績					(3)	平成29年度は、研究1年目で分析法開発とデータ蓄積のみのため「0」 平成30年度は、学会での発表および論文投稿の件数					
活動指標	(目標) 実績				(2)	(4)	水質・底質の調査回数 29年度は10月以降に実施予定					
他県の状況	国立環境研究所や東京都が中心となっているⅡ型共同研究において、平成29年度より、リン酸エステル系難燃剤の取り組みが行われている。					関連事業の有無・役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				